

『天国と地獄』 作…ポチ子

生徒1 「天国に行ける条件って緩すぎると思わない？」

生徒2 「その話長くなる？今、テスト勉強中なんだけど。」

生徒1 「普通に生きてれば、死んだとき天国に行けるみたいにな
ってるじゃん。」

生徒2 「無視かよ。」

生徒1 「絶対おかしいよ。だって地獄はさ、現世でものすごい悪
い事しないと行けなさそうなのに、天国はお祈りとかお
経とか唱えてもらえれば行けるわけでしょ？なんか腐敗
の香りがする。」

生徒2 「いいじゃん、別に。そのおかげで平々凡々の俺らでも天
国に行けるわけだろ？腐敗に感謝しなくちゃな。」

生徒1 「それにさ、それにさ。皆天国に行けたら天国だけ人口密
度高くない？」

生徒2 「はぁ・・・天国はきつとすげー広いんだよ、そういう仕
様なの。だから、変な心配すんな。」

生徒1 「えー、絶対おかしいよ。せめてもうちよい条件厳しくし
た方がいい。」

生徒2 「例えば？」

生徒1 「例えば？・・・んー、天国入試制度を作るとか。」

生徒2 「なんだよ、それ。」

生徒1 「天国に関する問題を出題して、合格点に届かなかった人は地獄行き！みたいな。」

生徒2 「割と厳しいな。そもそも、問題って何だよ。」

生徒1 「神様の名前とか・・・？」

生徒2 「信じる宗教が変わってくんじゃないの、それ。」

生徒1 「ああ、確かに。んじゃあ、なんか数学の問題とかでいいよ。5教科、5教科。」

生徒2 「それ、ただの入試じゃね。」

生徒1 「あと、オープン天国キャンパスに参加した人は、面接で有利になるとか。」

生徒2 「一生戻ってこれなさそうなオープンキャンパスだな。」

生徒1 「うーん、考えると難しいな。どうやったら、天国人口大爆発問題を解決できるのか・・・」

生徒2 「その問題、お前が勝手に生み出しただけだから。天国はあれだよ、神様の力でなんやかんや全部解決できんの！はい、この話は終わり！勉強すんだから、さっさと出てけ！」

生徒1 「ちえっ！まだ、話終わってないのに！」